★感染症対策のため、講演などを中止・変更する場合があります

go to TOGO MURANO's ARCHITECTURE

村野藤吾の建築　目黒区総合庁舎

vol. 2　駒沢通りから南口玄関へ

▲千代田生命保険相互会社本社ビル時代の来客用正門

日本を代表する建築家・村野藤吾氏の作品の一つとして知られている総合庁舎の魅力を紹介していくシリーズ。2回目は、南口玄関です。

村野のこだわりがみえる、南口玄関までのアプローチ

千代田生命保険相互会社本社ビルから現在の総合庁舎に改修する際、大きく変貌を遂げたのが、駒沢通りから南口玄関まで続くアプローチでした。

改修前、正門は駒沢通りに面した坂の途中にありました。南口玄関まで続く石畳の長いアプローチは、周りにたくさんの樹木が植栽された築山になっていました。うっそうと生い茂る樹木が目隠しとなって正門から建物を見ることはできず、右に曲がったアプローチを進むとようやく建物が姿を現します。これが、村野の粋な演出でした。

区民の利便性を考え、現在は、正門があった築山と南口玄関の間に、右折車両を誘導するための区道を整備し、当時の築山は中目黒しぜんとなかよし公園として、小さいながらも緑豊かな公園として親しまれています。また、道路整備箇所にあった樹木は区内の公園などに移植しました。

正門からは、建物は見えません。石畳の坂道を上がるにつれ、縦格子が印象的な外観が徐々に姿を現します。村野の演出に来客者たちは、さぞ感銘したことでしょう。

▲現在は中目黒しぜんとなかよし公園に

建築家　**村野藤吾氏**

独自の作風で300を超える個性豊かな建築を設計し、1984年、93歳で亡くなるまで数々の賞を受賞した、日本を代表する近代建築の第一人者

問総務課庁舎管理係（☎5722－6107、FAX5722－9315）

職員だから知っている

区の施設の魅力、教えます！

油面住区センター児童館 編

児童館職員の宮良が伝えたい
油面住区センター児童館のココが魅力

「おかえり」で子どもたちを迎える家に帰ってきたようなアットホームな場所に

油面住区センター児童館は、さまざまな機会に子どもたちに児童館の楽しさを知ってもらうための種をまいています。新入学の時期は小学校の新1年生に2年生以上が館内を案内する「ようこそ1年生歓迎会」、2カ月かけて子ども自身が祭りの企画・運営をする「らっぴーフェスティバル」、油面小学校の校庭に職員が出向いてテーマ遊びをする「出張児童館」など、子どもたちを飽きさせない行事が一年を通じて盛りだくさん。障害のある子もない子も一緒に遊ぶ「あそびのつどい」も年6回開催しており、どれも年齢や個性が違う友だちとどう接しどう関わるかを、大人が教えるのではなく、子どもたち自身で考えることを大切にしています。また、オリジナルの遊びややりたいことなどを提案してくることもあり、そんな時はどうすれば実現できるかを一緒に考えることで、子どもの創造力や自主性が育つようにサポートしています。

赤ちゃんの頃から親子で親しんでもらい、子どもたちが安心して過ごせる自分の家のような場所になれるよう、職員一丸となって頑張っています。親子で、友だちを誘って、ぜひ遊びに来てください。

＼図工室／

木や紙、絵の具などさまざまな材料を使って、3歳から（未就学児は保護者同伴）自由に工作することができます。けが防止のため、運動靴で来てください。

毎月変わるテーマ工作は大人気！取材時のテーマは「オリジナル缶バッジ」でした

＼プレイルーム／

思い切り体を動かして、はだしで遊ぶ部屋です。ボール遊びや一輪車、卓球などもできます。近隣小学校開校日の午前中は乳幼児に開放し、三輪車やボールで遊ぶことができます。

月～金曜日17：00～18：00は、中高校生タイムとして中学生以上に開放。ダイナミックに遊べることが魅力です！

場中町1－6－23
問☎3713－1809、FAX3713－1956
開館時間　月～金曜日9：00～18：00、土曜日と第1・3・5日曜日9：00～17：00。祝・休日、年末年始は休館（こどもの日は開館）
館内施設　〈2階〉遊戯室、幼児コーナー〈地下1階・10：00から〉図工室、プレイルーム
対18歳までの子どもと保護者